

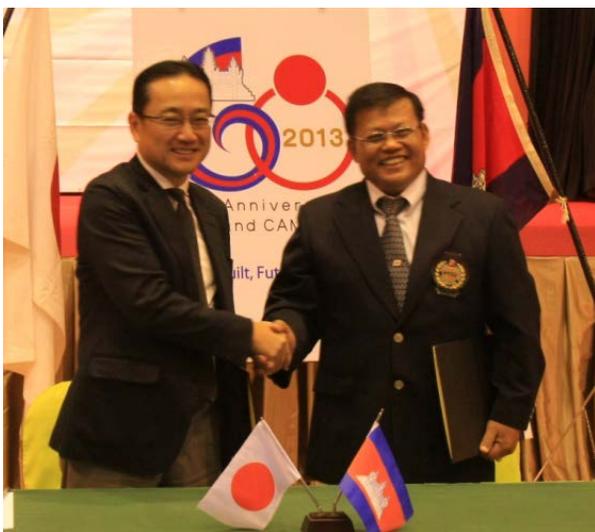
平成24年度草の根文化無償資金協力署名式典

2月24日（日）、平成24年度草の根文化無償資金協力署名式典が、日本カンボジア人材開発センターで開催された絆フェスティバルの催しとして執り行われ、樋口義広臨時代理大使とカンボジア空手道連盟のラーチ・チャン・ソヴァン会長が、「武道場建設計画」（供与限度額：120,780米ドル）案件の贈与契約書に署名しました。

カンボジア空手道連盟は、日本武道専用の施設が無いいため普及振興活動や競技会、講習会等を開催する際には公共施設を使用していました。しかし、公共施設の数に限られていることから、他種目の競技会と日程が重なる場合には開催を断念するなど会場を確保しにくく、計画通りの実施が難しい状況にありました。本事業では武道場及び器具庫等を備えた2階建て道場施設を建設し日本武道普及振興の殿堂とし、スポーツ競技を通じた青少年健全育成を促進します。また、適切な技術指導及び効果的な競技運営を行うために、公式試合用機材一式も設置します。

式典では、樋口臨時代理大使がスピーチを行い、身体の鍛錬ばかりでなく忍耐力、謙虚さ、社会性といった精神面も鍛えられる日本武道の普及振興はこれからのカンボジアを支える青少年の健全育成に効果が期待できると述べました。続いて、ラーチ・チャン・ソヴァン会長が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、日本武道競技人口が若者層を中心により一層拡充するよう、本事業実施に最善を尽くすことを約束しました。

その後行われた空手デモンストレーションでは、小中高生による力強い演技に惜しみない拍手が送られ、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。



樋口臨時代理大使とラーチ・チャン・ソヴァン会長



樋口臨時代理大使のスピーチ



署名式典後の記念撮影



空手デモンストレーションの様子